

CMC GROUP

株式会社 シイエム・シイ

第62期 (2023年9月期)

株主通信

代表取締役社長

佐々 幸恭

ささ ゆきやす



日頃はCMC GROUPに格別のご厚情をたまわり、感謝申し上げます。

当期は、連結営業利益において、わずかに過去最高益を更新することができましたが、期初の予想と比較して、十分な結果とはいいがたく、さらなる企業努力が必要であると認識しております。

一方で、当期はまさにビジネスモデル変革の真っ只中であり、さらなる成長に向け着実に変革を進めた1年でもありました。

当社グループのビジネスモデルは、**お客さま企業に寄り添って、製品・技術情報を知り尽くすことで、“必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で”お届けし、関わる皆さまの心を動かす価値を提供する**というものです。

今後も、ビジネスモデルの強化を通じて、社会課題の解決や豊かな社会づくりに貢献すべく、独自のビジネスを推進してまいります。引き続き、ご指導とご支援たまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結業績ハイライト ※QRコードから決算説明動画をご視聴いただけます。

当期は営業利益において、わずかに過去最高益を更新、来期は増収増益を予想



当期の連結業績は、売上高184.5億円、営業利益26.1億円、経常利益28.7億円、親会社株主に帰属する当期純利益17.6億円となりました。

原材料費の上昇などがあったものの、生産性向上の取り組みが寄与し、営業利益はわずかではありますが、過去最高益を更新することができました。一方、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は、為替差益の縮小や研究開発拠点の建て替えに伴う固定資産の処分により特別損失が発生し、減少しました。

来期の連結業績に関しては、さらなるビジネスモデル変革などに向けた先行投資の期としていますが、増収増益を予想しています。

■当期業績 (単位: 億円)

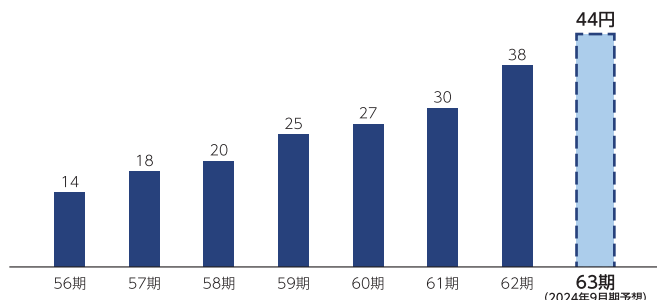
連結業績	実績	前期比	来期予想※	
売上高	184.5	+3.0%	190.0	+3.0%
営業利益	26.1	+1.0%	27.0	+3.2%
経常利益	28.7	▲3.0%	29.0	+0.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	17.6	▲12.0%	18.0	+2.1%

※2023年11月10日開示の決算短信より転載

来期の配当予想・IRに関する取り組み

■増配を継続、1株当たり44円(+6円)を予想

来期の期末配当金は、業績動向・財務体質、将来のための投資に必要な内部留保などを総合的に勘案し、1株当たり普通配当44円(+6円)の増配を予想しています。



■2年連続「名証 IR EXPO」に出展

当社グループは、「名証 IR EXPO 2023 (名古屋市吹上ホール)」に出展しました。会社説明会・個別面談では、多くの投資家の皆さまから熱心にご質問をいただきました。今後も当社グループは、株主の皆さまに有益な情報提供を積極的に進めます。



※QRコードから説明会のプレゼンテーション資料をご確認いただけます。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

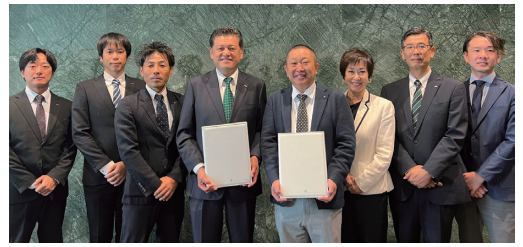
CMC GROUP 第62期下期に関する取り組みのご紹介

自動車整備DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進 当社グループに「府中自動車株式会社」が仲間入り

当社グループは、自動車整備に従事するエンジニアの働き方改革を目指し、自動車整備の知見・顧客基盤を有する「府中自動車株式会社（東京都府中市）」を連結子会社化しました。

自動車整備の現場では、自動車の電動化・電子化に伴う、業務負荷の増大が課題となっています。

グループ各社の知見を持ち寄り、実際の自動車整備の現場で検証を行うことで、商材の開発や成功モデルづくりを加速させ、自動車整備事業者に対する業務効率化・働き方改革につながるサポートを推進します。



調印式の様子

府中自動車株式会社について

東京都府中市を中心に自動車の車検・钣金塗装などのサービスを通じて、生活者の移動を60年以上にわたり支えてきた地域密着型の企業です。
梱包運輸事業も手掛けており、運搬、据え付け・調整、撤去までを一貫して対応できるという、特長をもったサービスを展開しています。

東南アジア地域のサービス体制を強化 現地法人を新会社「CMC GROUP ASIA CO., LTD.」に統合

当社グループは、東南アジア地域におけるお客さま企業の事業展開をさらにサポートするために、現地法人を統合しました。

今後は、新会社「CMC GROUP ASIA CO., LTD.（タイ）」にてDX（デジタルトランスフォーメーション）の支援など、お客さま企業のさまざまな要望に応えるサービスを提供します。

東南アジア地域の自動車市場は急速に変化しています。

新会社では、この変化に適応するため、米国・中国・台湾などの海外現地法人との連携を強化します。

さらに、タイを主軸としながら、インド市場や中東市場への進出も視野に入れて、取り組みます。



統合に合わせて新オフィスを開所



当社グループの東南アジア地域の拠点

研究開発拠点をリニューアル 「CMC GROUP NAGOYA BASE」の建て替えを決定

当社グループは、研究開発拠点「CMC GROUP NAGOYA BASE」の建て替えを決定しました。

新拠点では、環境負荷や従業員の働きやすさへ配慮しながら、デジタル変革や新事業創造に向けた共創活動を進めます。完成は2025年を予定しています。



「CMC GROUP NAGOYA BASE」完成イメージ
※検討段階のため、完成時の外観が異なる場合がございます。

「情報価値のサステナビリティを目指して」 グループカの強化に向けたアクションを推進

当社グループは、当社グループのパーパス（存在意義）を「情報価値のサステナビリティを目指して」と位置付け、「CMC GROUP サステナビリティ方針」を策定しました。新たな方針のもとで、グループカの強化に向けたアクションを推進します。



「情報価値のサステナビリティ」

「お客さま企業に寄り添って、製品・技術情報を知り尽くすことで、“必要な時に、必要とする情報を、最適な方法で”お届けし、関わる皆さまの心を動かす価値を提供する」という当社グループの変わらない価値観です。